

平成29年12月8日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(86回公演)報告スタート
29.12.7 デイサービスセンターどりーむ沼上 美里町北十条

10月公演した「どりーむ」の姉妹施設です。この公演時に御依頼をいただき初めての訪問です。午前中「くまぴあ」で定例の練習をし、昼食後美里町の施設に向かいました。

午後1時20分に着き、すぐ着替え室に通され準備をしました。今日のお客さんはデイサービスを利用している25人程の方と職員10人です。今日の衣装は12月のクリスマスに合わせ、全員がサンタクロースの帽子をかぶりました。これが大うけでした。

予定した時間前の1時50分からの開演で、マイクを戴き公演が始まりました。

今日は5人そろっての公演で、いつも通り舛田さんからの「南京玉すだれ」の口上からのスタートです。口唄が始まると、その調子に合わせてほぼ全員の方から手拍子をいただき、次々に変化する「すだれ」の形に驚きの声があちこちから聞かれ、また、「玉すだれ」のトークや「各人の得意技」の演技でも、こちらからの問い掛けに元気な回答が返ってきたり、首を振って頷いたり元気な方々が多く感じられました。

続いて「きよしのズンドコ節」では、フィナーレの場面で「きれいだね～」とか「上手だね～」とか誉め言葉が聞こえてきて、こちらも嬉しくなりました。「玉すだれ体験」コーナーでは、隣同志の2人で大きく開いた阿弥陀如来の形の端を手にもって、ニコニコ顔をして職員の写す写真に収まっていた。「サザエさん体操」では曲に合わせて全員で手を上げ体を揺すり、楽しい体操になりました。2回目には前に元気な91歳と92歳のおばあちゃんにお願いいただき、一緒に体操をやって公演を盛り上げました。

最後に「東京五輪音頭」を披露し、60分の公演が終わりました。会場を去るに当たり「今日はたのしかった。また来て下さいね。」という温かい言葉を戴き帰ってきました。





